

## FNS サンプルモジュールのインストール手順

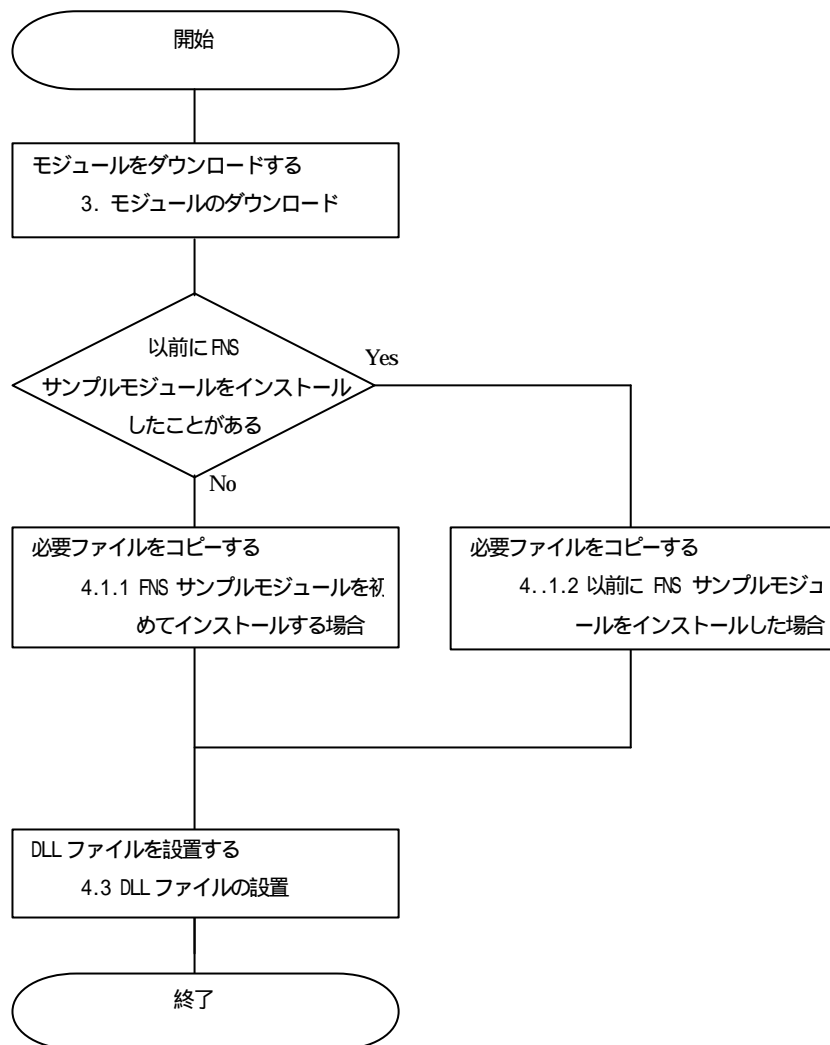
### 1 Windows 版のインストール

ここでは、AVS/Express に FNS サンプルモジュールをダウンロードしてインストールする方法について説明します。機能によって DLL のインストール有無など手順が異なりますが、基本的にはどのモジュールも同様の手順によってインストールすることが可能です。

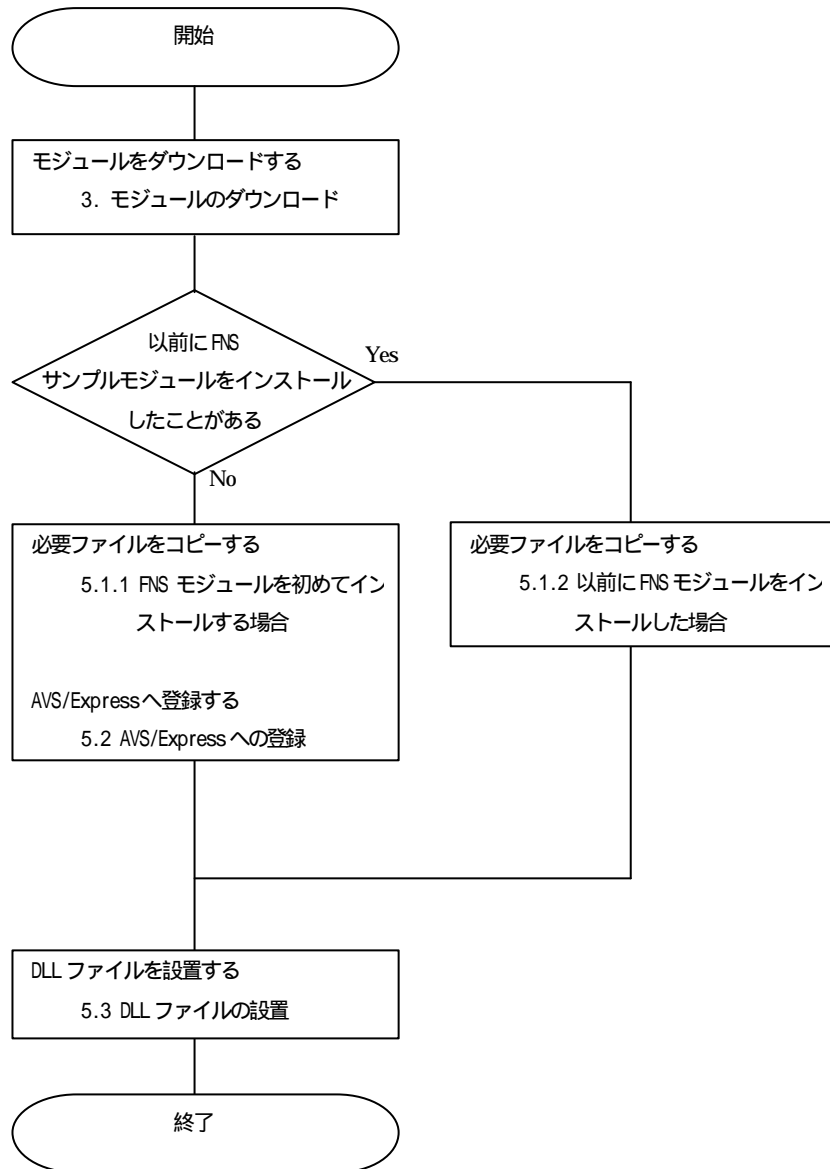
インストール前には必ず付属の Readme.txt をお読みください。

### 2 インストール手順フローチャート

#### 2.1 既存のプロジェクト環境にインストールする場合



## 2.2 AVS/Expressの環境にインストールする場合



### 3 モジュールのダウンロード

"FUviewer3D\_Axis"のファイル"FUviewer3D\_Axis\_WIN.exe"を例に紹介します。

"Windows 版 FNS サンプルモジュールのダウンロード" ページの"FUviewer3D\_Axis"のファイル"FUviewer3D\_Axis\_WIN.exe"をダウンロードしてください。

AVS/Express がインストールされているマシンに作業ディレクトリを作り、ダウンロードしたファイルをコピーして、実行してください。すると[FUviewer3D\_Axis]というディレクトリが作成され、その配下に以下のようなファイルとディレクトリが作成されます。

今回は[C:¥Temp]で実行し、[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis]とします。

```
FUviewer3D_Axis
  ReadMe.txt

  autoload
    FNS_init.v

  DLL
    FUviewer3D_Axis.dll

  FNS_Samples
    templ.v

  Viewers

    macros
      FUviewer3D_Axis.v
      FUviewer3D_Axis.vo

    modules
      FNS_Axis3D.v
      FNS_Axis3D.vo
      FNS_Axis3D_Arrow.v
      FNS_Axis3D_Arrow.vo
```

#### 4 既存のプロジェクト環境へのインストール

既存のプロジェクト環境へインストールする場合の手順について説明します。  
インストール先のプロジェクトは[C:¥Project]とします。

##### 4.1 FNS サンプルモジュールV ファイルのコピー

###### 4.1.1 FNS サンプルモジュールを初めてインストールする場合

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis]配下の[FNS\_Samples]ディレクトリと[autoload]ディレクトリを、  
[C:¥Project]にコピーします。

###### 4.1.2 以前に FNS サンプルモジュールをインストールした場合

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥FNS\_Samples]ディレクトリ配下のファイル/ディレクトリを、  
[C:¥Project¥FNS\_Samples¥Viewers]にコピーします。

[C:¥Project¥FNS\_Samples¥Viewers]に[image]、[macros]、[modules]のディレクトリが存在しない場合は、ディレクトリをコピーしてください。存在する場合は、ディレクトリ内のファイルを[C:¥Project¥FNS\_Samples]配下の同名のディレクトリにコピーしてください。

[C:¥Project¥FNS\_Samples]ディレクトリ配下に存在する temp1.v は上書きしないでください。

既存の[C:¥Project¥FNS\_Samples¥temp1.v]を編集します。

[C:¥Project¥FNS\_Samples¥temp1.v]をメモ帳等で開きます。

・ [C:¥Project¥FNS\_Samples¥temp1.v]の例 (変更前)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
  };
};
```

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥FNS\_Samples¥temp1.v]を参考にして、既存の  
[C:¥Project¥FNS\_Samples¥temp1.v]を編集します。

・ [C:¥Project¥FNS\_Samples¥temp1.v]の例 (変更後)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D_Arrow" FNS_Axis3D_Arrow; 追加
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D" FNS_Axis3D; 追加
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Axis" FUviewer3D_Axis; 追加
  };
};
```

## 4.2 DLL ファイルの設置

DLL ファイルはパスの通ったディレクトリに設置します。

パスの通っていない任意のディレクトリに設置する場合には、環境変数等の設定が必要です。

- 1: DLL ファイルの無いモジュールの場合、この作業は必要ありません。
- 2: DLL ファイルの有無については付属の Readme.txt をお読みください。

### DLL ファイルのコピー

- **DLL をプロジェクトディレクトリ(パスの通ったディレクトリ)へ格納する場合**

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥DLL¥FUviewer3D\_Axis.dll]を、

[C:¥Project¥bin¥pc]へコピーします。

この場合、環境変数等の設定は必要ありません。

- **DLL をパスの通っていない任意のディレクトリへ格納する場合**

DLL ファイルを格納する適当なディレクトリを作成します。

今回は[c:¥FNS\_Samples]とします。

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥DLL¥FUviewer3D\_Axis.dll]を、

[c:¥FNS\_Samples]へコピーします。

### DLL ファイルへのパスの設定

[c:¥FNS\_Samples]へパスを通します。

#### Windows 95/98/98SE の場合

[C:¥autoexec.bat] ファイルをメモ帳で開いて、

SET PATH = C:¥WINDOWS (この部分は環境によって異なります)

と書かれている部分に、[;]と[c:¥FNS\_Samples]を追加します。

SET PATH = C:¥WINDOWS;c:¥FNS\_Samples

となります。

#### Windows 2000/xp の場合

コントロールパネルのシステムを開きます。

[詳細タブ]の[環境変数]をクリックします。

[システム環境変数]の[Path]をクリックして、編集ボタンを押します。

[変数の値]の項目の最後に、以下の記述を追加します。

[;c:¥FNS\_Samples]

#### Windows me の場合

[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [システムツール] [システム情報]と進みます。

[ツール] [システム設定ユーティリティー]から PATH を編集する事ができます。

[環境タブ]の[PATH]をクリックして、編集ボタンを押します。

[変数の値]の項目の最後に、以下の記述を追加します。

[;c:¥FNS\_Samples]

設定が終わったら再起動します。

以上で既存のプロジェクト環境へのインストール作業は終了です。

## 5 AVS/Express の環境へのインストール

AVS/Express へインストールする場合の手順について説明します。  
インストール先の AVS/Express は [c:¥Express] とします。

### 5.1 FNS サンプルモジュールV ファイルのコピー

#### 5.1.1 FNS サンプルモジュールを初めてインストールする場合

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis] 配下の [FNS\_Samples] ディレクトリを、[c:¥Express] にコピーします。

#### 5.1.2 以前に FNS サンプルモジュールをインストールした場合

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥FNS\_Samples¥Viewers] ディレクトリ配下のファイル/ディレクトリを、[c:¥Express¥FNS\_Samples¥Viewers] にコピーします。

[c:¥Express¥FNS\_Samples¥Viewers] に [image]、[macros]、[modules] のディレクトリが存在しない場合は、ディレクトリをコピーしてください。存在する場合は、ディレクトリ内のファイルを [c:¥Express¥FNS\_Samples¥Viewers] 配下の同名のディレクトリにコピーしてください。

[c:¥Express¥FNS\_Samples] ディレクトリ配下に存在する templ.v は上書きしないでください。

既存の [c:¥Express¥FNS\_Samples¥templ.v] を編集します。

[c:¥Express¥FNS\_Samples¥templ.v] をメモ帳等で開きます。

・ [c:¥Express¥FNS\_Samples¥templ.v] の例 (変更前)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
  };
};
```

[c:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥FNS\_Samples¥templ.v] を参考にして、既存の  
[c:¥Express¥FNS\_Samples¥templ.v] を編集します。

・ [c:¥Express¥FNS\_Samples¥templ.v] の例 (変更後)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D_Arrow" FNS_Axis3D_Arrow;      追加
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D" FNS_Axis3D;                追加
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Axis" FUviewer3D_Axis;        追加
  };
};
```

## 5.2 AVS/Express への登録

AVS/Express へ登録するには、[c:¥Express]にあるファイルの編集が必要です。

以前に FNS サンプルモジュールをインストールしたことがある場合は、この作業は必要ありません。

### FNS\_init.v のコピー

[c:¥Express¥autoload]ディレクトリに[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥autoload¥FNS\_init.v]をコピーします。

[c:¥Express¥autoload]ディレクトリが存在しない場合はディレクトリを作成してください。

### 5.3 DLL ファイルの設置

DLL ファイルはパスの通ったディレクトリに設置します。

パスの通っていない任意のディレクトリに設置する場合には、環境変数等の設定が必要です。

DLL ファイルの無いモジュールの場合、この作業は必要ありません。

2: DLL ファイルの有無については付属の Readme.txt をお読みください。

#### DLL ファイルのコピー

- DLL を AVS/Express ディレクトリへ格納する場合

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥DLL¥FUviewer3D\_Axis.dll]を、

[C:¥express¥bin¥pc¥]へコピーします。

この場合、環境変数等の設定は必要ありません。

- DLL をパスの通っていない任意のディレクトリへ格納する場合

DLL ファイルを格納する適当なディレクトリを作成します。

今回は[c:¥FNS\_Samples]とします。

[C:¥Temp¥FUviewer3D\_Axis¥DLL¥FUviewer3D\_Axis.dll]を、

[c:¥FNS\_Samples]へコピーします。

#### DLL ファイルへのパスの設定

[c:¥FNS\_Samples]へパスを通します。

##### Windows 95/98/98SE の場合

[c:¥autoexec.bat] ファイルをメモ帳で開いて、

SET PATH = C:¥WINDOWS (この部分は環境によって異なります)

と書かれている部分に、[;]と[c:¥FNS\_Samples]を追加します。

SET PATH = C:¥WINDOWS;c:¥FNS\_Samples

となります。

##### Windows 2000/xp の場合

コントロールパネルのシステムを開きます。

[詳細タブ]の[環境変数]をクリックします。

[システム環境変数]の[Path]をクリックして、編集ボタンを押します。

[変数の値]の項目の最後に、以下の記述を追加します。

[;c:¥FNS\_Samples]

##### Windows me の場合

[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [システムツール] [システム情報]と進みます。

[ツール] [システム設定ユーティリティー]から PATH を編集する事ができます。

[環境タブ]の[PATH]をクリックして、編集ボタンを押します。

[変数の値]の項目の最後に、以下の記述を追加します。

[;c:¥FNS\_Samples]

設定が終わったら再起動します。

以上でインストールされている AVS/Express へのインストール作業は終了です。